※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １００４ |
|---|---|

令和５年度　体育科

| 教科 | 体育 | 科目 | 競技スポーツ１ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

スポーツに興味関心が高く、各種目の特性や、深い専門知識を身につけたい非常に意欲の高い人。
それぞれの競技において、各種目における専門的な立場から運動技能向上のための、練習法・戦術・審判などを学びます。

２　学習の到達目標

・必修体育よりも、専門的な運動技術を身につけ、練習法、戦術、審判法について理解する。
・生涯にわたって仲間と協力しながら、より高度な技能を修得するとともに各種目の特性を理解する。
・主体的に運動に取り組み、自他の技能を客観的に判断し、スポーツマンシップを身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。<br>スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。 | 知識を活用し、技能向上につなげる。<br>自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。<br>運動を継続し、体力や技能を向上するための計画を考えることができる。<br>学習で得た成果を実生活に生かせることができるよう自ら応用・発展させることができる。 | 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。<br>健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。<br>結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。<br>公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 球技<br>ネット型 | ネット型<br>バレーボール<br>テニス<br><br>女子<br>水泳<br>背泳ぎ<br>バタフライ<br>個人メドレー<br>メドレーリレー<br>・2学期の水泳評価基準参照 | a:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。<br>b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 | 技能観察<br><br>技能テスト | 行動観察<br><br>レポート | 受講態度観察 |
| 2学期 | 水泳 | 男子<br>水泳<br>背泳ぎ<br>バタフライ<br>個人メドレー<br>メドレーリレー<br><br>ネット型<br>バレーボール<br>バドミントン<br>卓球　　など<br>・1学期の評価基準参照<br><br>ベースボール型<br>ソフトボール<br>・3学期の評価基準参照 | a:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。<br>b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 | 技能観察<br><br>技能テスト | 行動観察<br><br>レポート | 受講態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 球技<br>ゴール型<br>ベースボール型 | ゴール型<br>サッカー<br>バスケットボール<br><br>ベースボール型<br>野球<br>ソフトボール | a:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。<br>b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 | 技能観察<br><br>技能テスト | 行動観察<br><br>レポート | 受講態度 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度